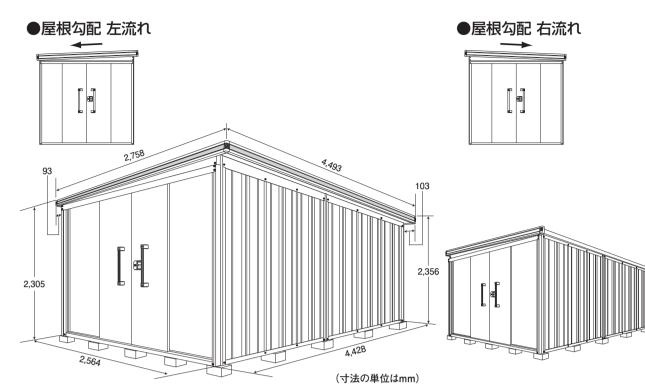
# 

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。 組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

※この組立説明書は屋根勾配が左流れの組立手順を基本に説明しています。

## 屋根勾配を右流れにする場合は下枠、柱等の設置に注意して組立を行ってください。



- ●建物の屋上には設置しないでください。●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- ●大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- ●崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。 ●給湯器の前には設置しないでください。

#### ●組立施工の際には

- ●アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。●組立の際には手袋を着用してください。
- ●梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
- ●組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。 ●風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- ●高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- ●組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

#### 鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

#### ●施工にあたって

- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。「HL型」は扉が左側、「HR型」は右側、 「HW型」は両側になります。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に 従って組立てしてください。
- 3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。

# ※安全のため必ず手袋を着用してください。

4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。 5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、 ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

### ●基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)

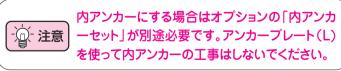
- ・コンクリートブロック 個数は①基礎施工を参照ください。
- (幅19(39)cm×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。)
- ・コンクリート(サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)※土の上に設置する場合に必要です。 ・芯棒打ち込み式アンカー(M12×70以上)6本※コンクリート床の上に設置する場合に必要です。
- ●組立てに必要なもの ·軍手 ·水準器 ·脚立 ·M6.M8ボルト締結用のスパナ又はモンキー

#### ●使用ビス一覧



#### ●アンカー工事について

アンカー工事は設置場所によって下図 のような方法があります。強風による転 倒防止のため、必ず行ってください。



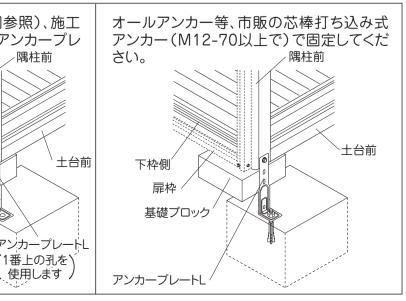
# 《土の上に設置する場合》

連結部分 300×600×300

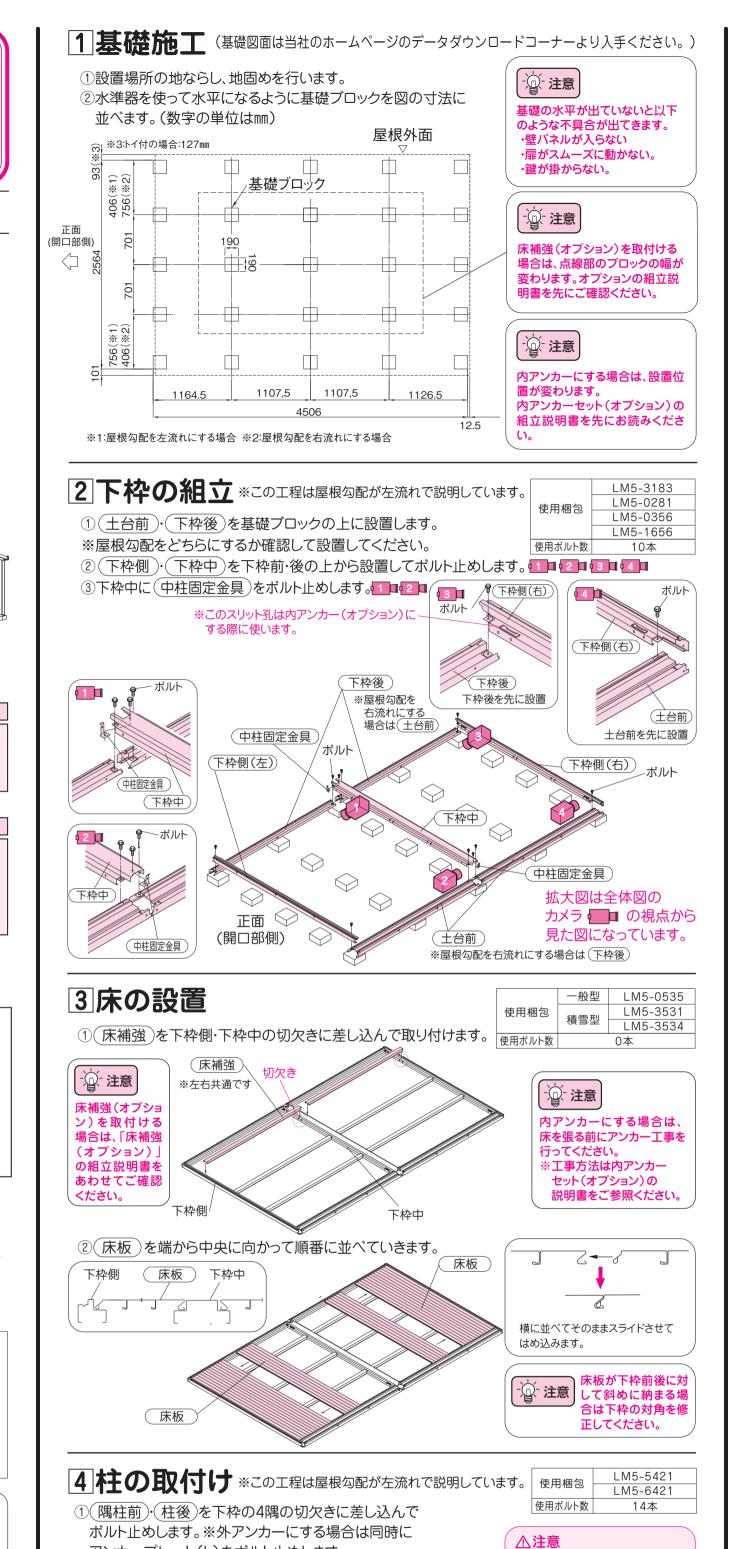
単位:(mm

#### 4隅・連結部分に穴を掘り(下図参照)、施工 後にコンクリートを流し込んでアンカープレ ート(L)を固定します。 本文ではこの方式 を基本として説明 しております。 下枠側 扉枠 ~ '土台前 基礎ブロック コンクリート ― ※組立て後に打ち込み 穴サイズ(タテ·ヨコ×深さ) アンカープレートし 4隅 300□×300 /1番上の孔を\

## 《コンクリート床の上に設置する場合》



#### ★注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください



アンカープレート(L)をボルト止めします

※左右はありません。

柱の側面に部材名と向き

を記した矢印の印字があ

ります。矢印の向きに従っ

て柱を取付けてください。

②(中柱前)・(中柱後)も同様に差し込みボルト止めします。 11222

※屋根勾配を

右流れにする

中柱後

正面

(開口部側)

場合は、隅柱前

柱が倒れないように転倒防止を

アンカープレート(L)

ボルト

アンカープレート(L)

中柱前

隅柱前

ボルト

行うなど注意してください。

中柱前

隅柱前

( アンカープレート(L) )

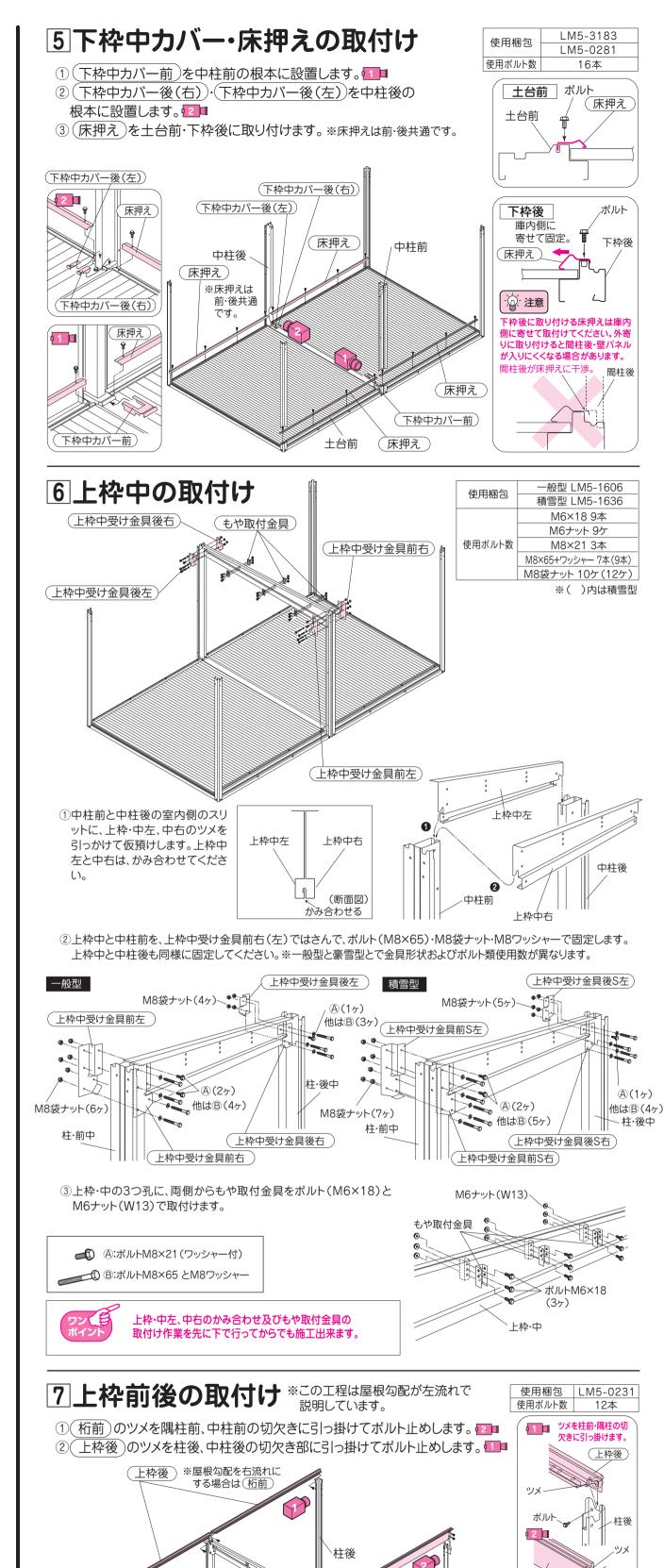
※側面部に取付けてください。

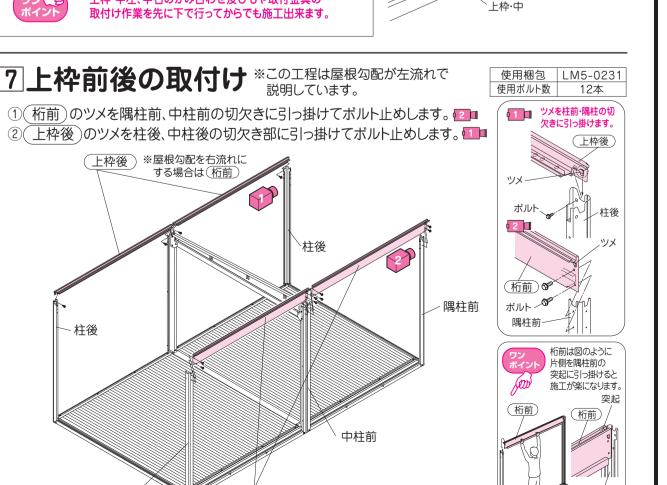
※屋根勾配を右流れに

する場合は、柱後

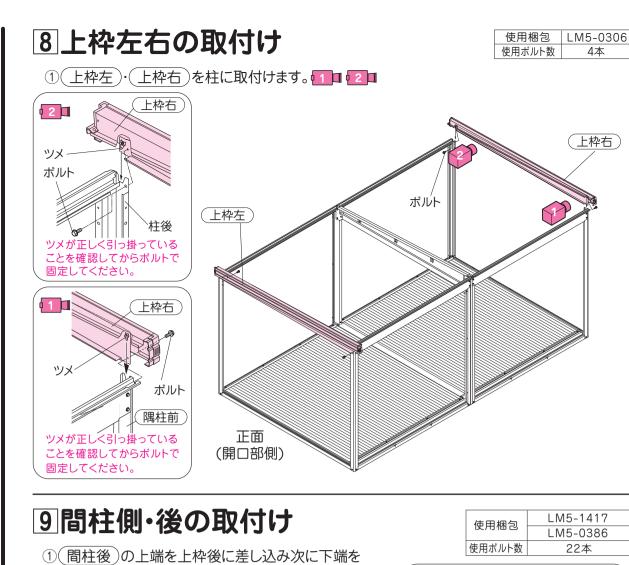
中柱固定金具の

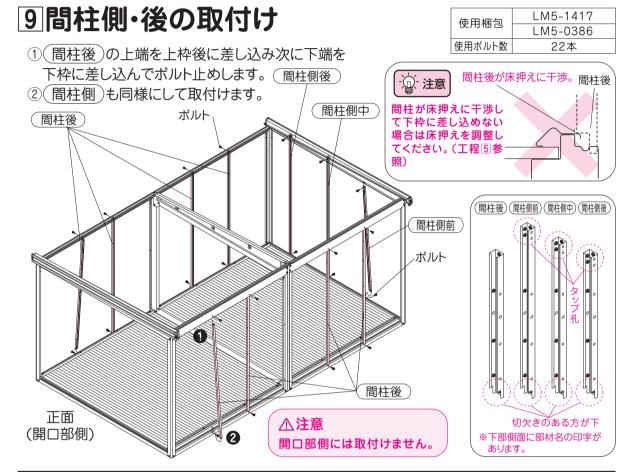
上からかぶせる。

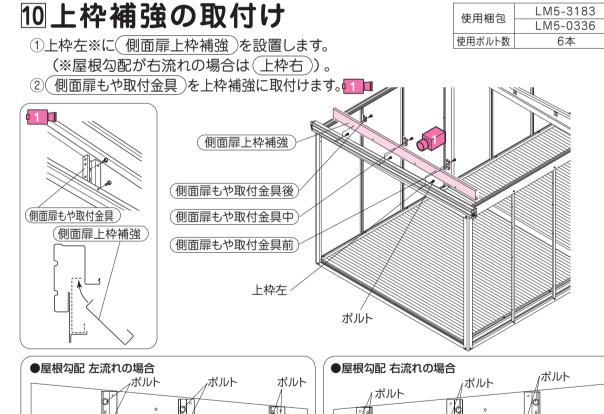


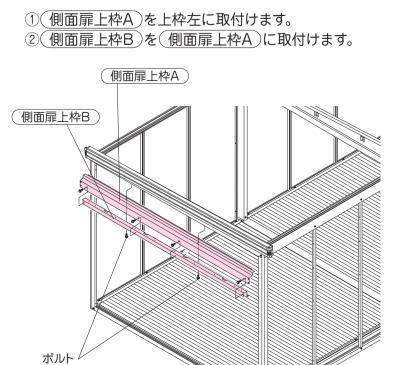


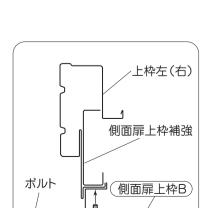
※屋根勾配を右流れにする場合は 上枠後











使用梱包 LM5-0336

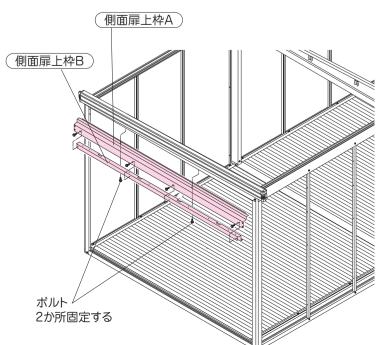
(もや取付金具後) (もや取付金具中) (もや取付金具前)

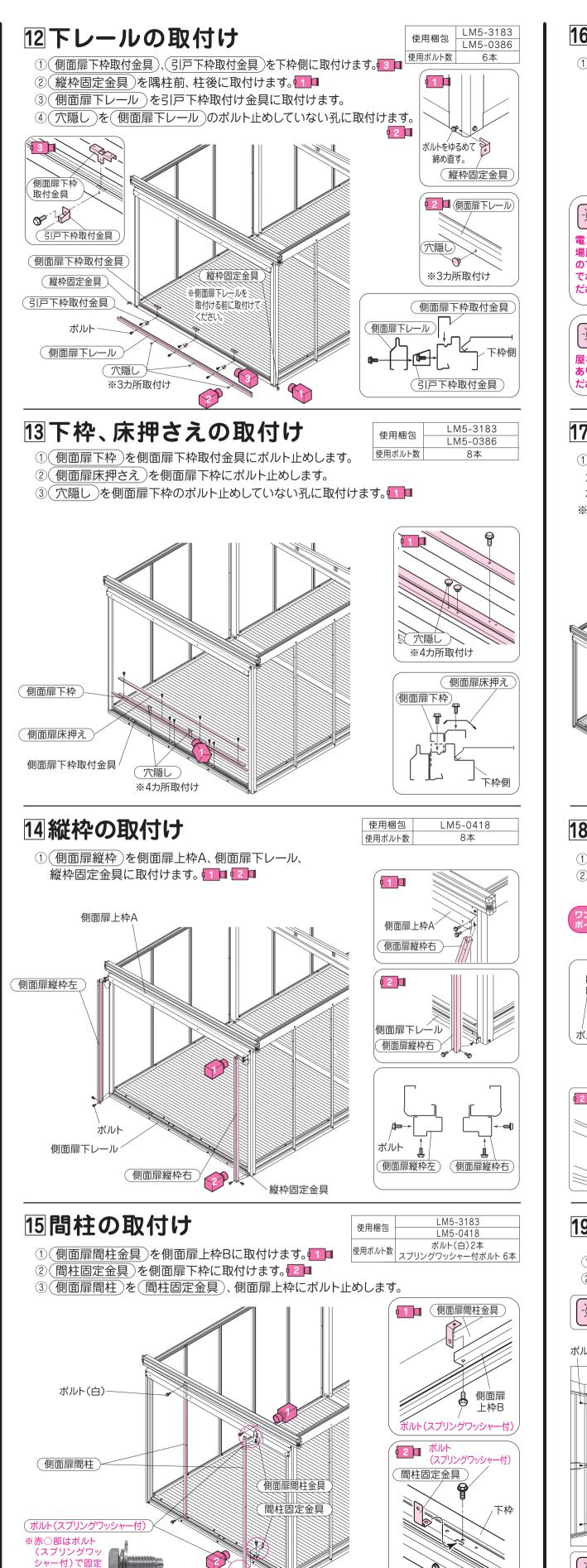
使用ボルト数

側面扉上枠A)

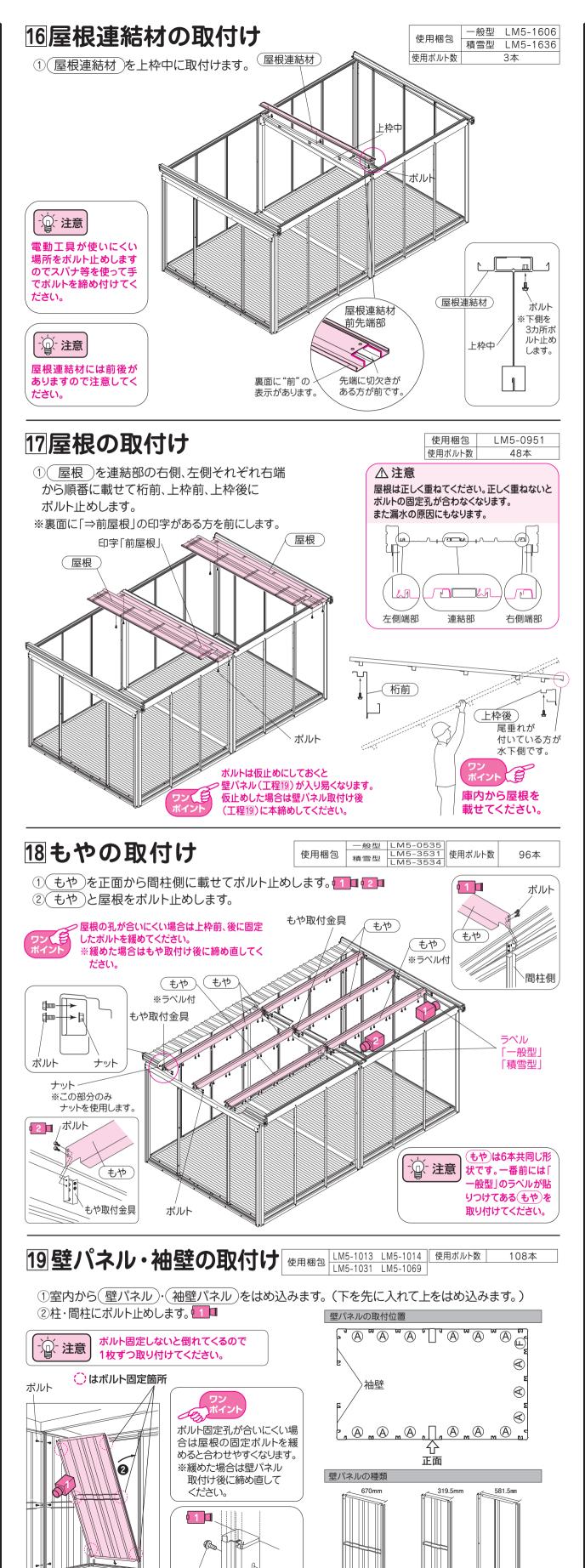
11上枠の取付け

もや取付金具前)(もや取付金具中)(もや取付金具後)





してください。



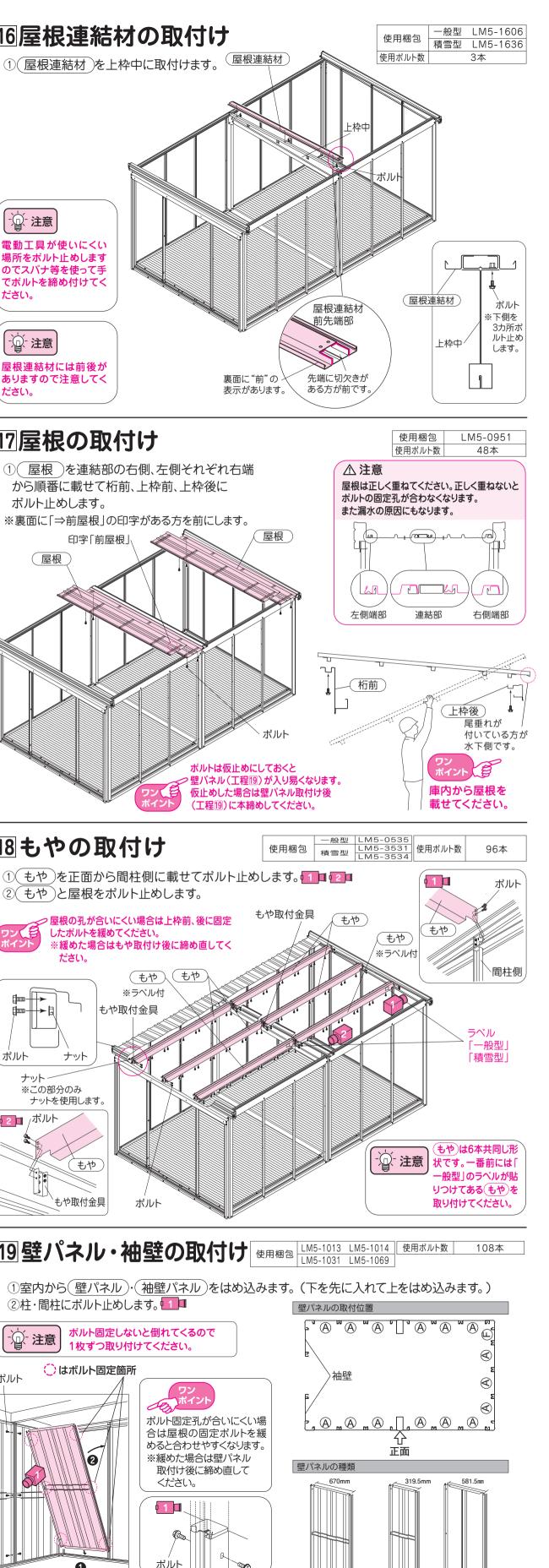
壁パネルと下枠に三角形状のすきまが発生したり隣

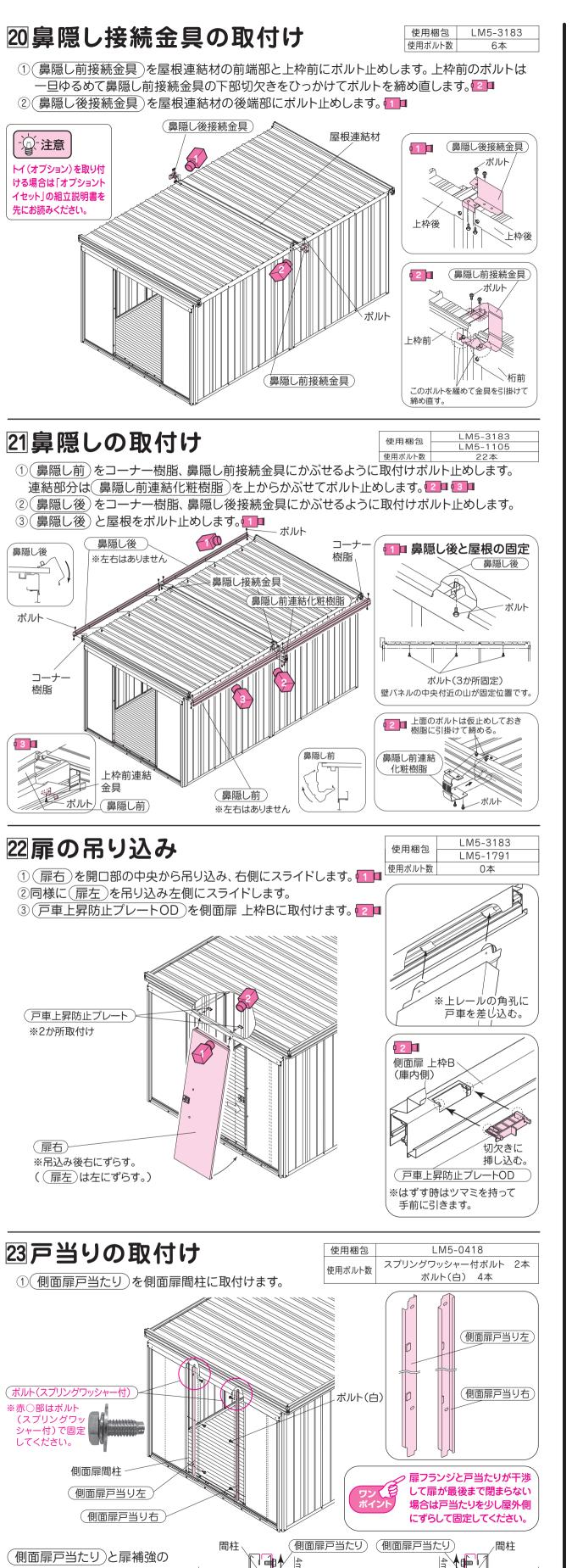
司士の棚受け取付けの角孔が上下方向にずれる場合

は、下枠の水平、本体の建ちを確認してください。

※壁パネルに上下の区別はありません。

※袖壁は"下"の印字があるほうを下にしてください。





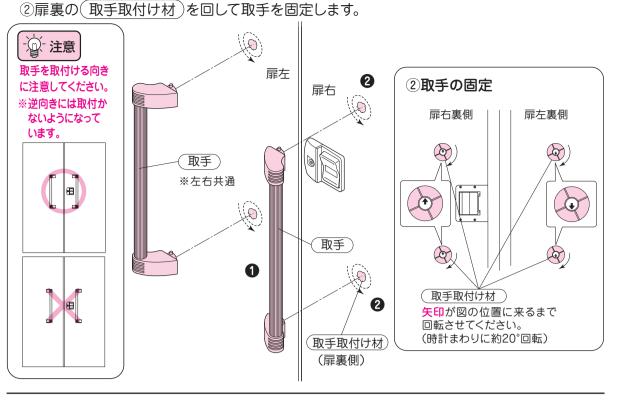
隙間が4mm程度になる位置で

ください。

(側面扉戸当たり)を固定して

# 24取手の取付け

① 取手 を扉右・扉左の取付け孔に差し込みます。※向きがありますので注意してください。

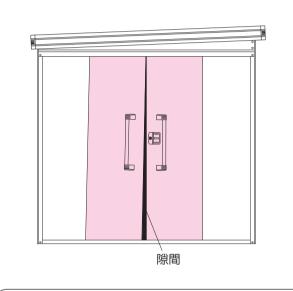


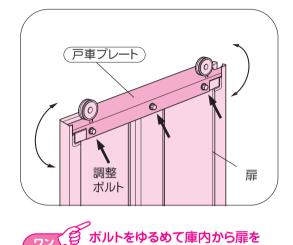
# 25扉の建付け調整

①扉を閉めて扉と扉の隙間を確認します。

隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、

戸車を固定しているボルト (調整ボルト)をゆるめて調整します。





閉めて扉同志が沿うように手で

押さえながらボルトを締め直します

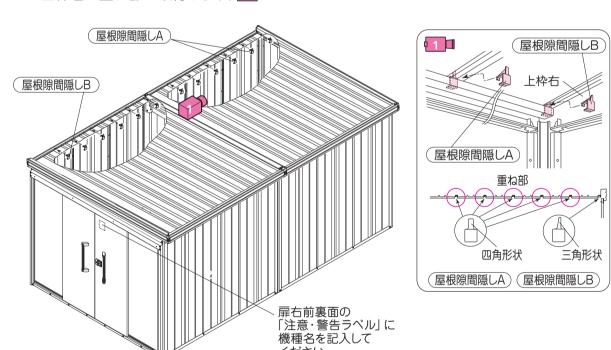
LM5-3183

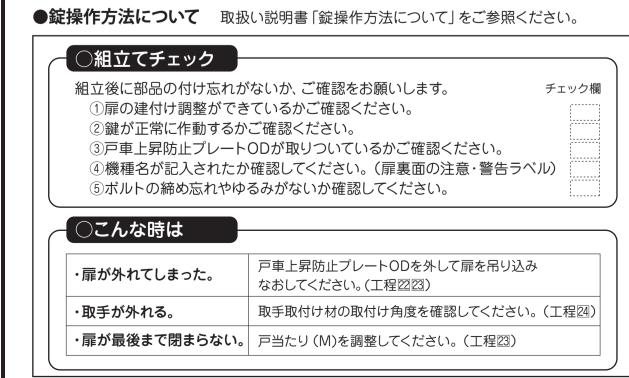
建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の建ちを直してください。

#### 26 その他部品の取付け 使用ボルト数

①扉裏面の注意・警告ラベルに、機種名、を記入します。

② (屋根隙間隠しA) を上枠後の屋根の重ね部に、(屋根隙間隠しB) を上枠後の屋根と 上枠右の重ね部に取付けます。





お客様へ組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。 施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。 本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

LMD-2544\_KS\_2025A

(2544H)